

I. 2014 年(平成 26 年)の福井県の貿易概況

2014 年の福井県の貿易は、輸出は前年(2013 年)より 8.6%減の 2,043 億 2,293 万円、輸入は 23.2%増の 1,575 億 5,112 万円となった。この結果、輸出超過額は 467 億 7,181 万円となり、前年の超過額 956 億 282 万円に比べ 51.1%減少した。

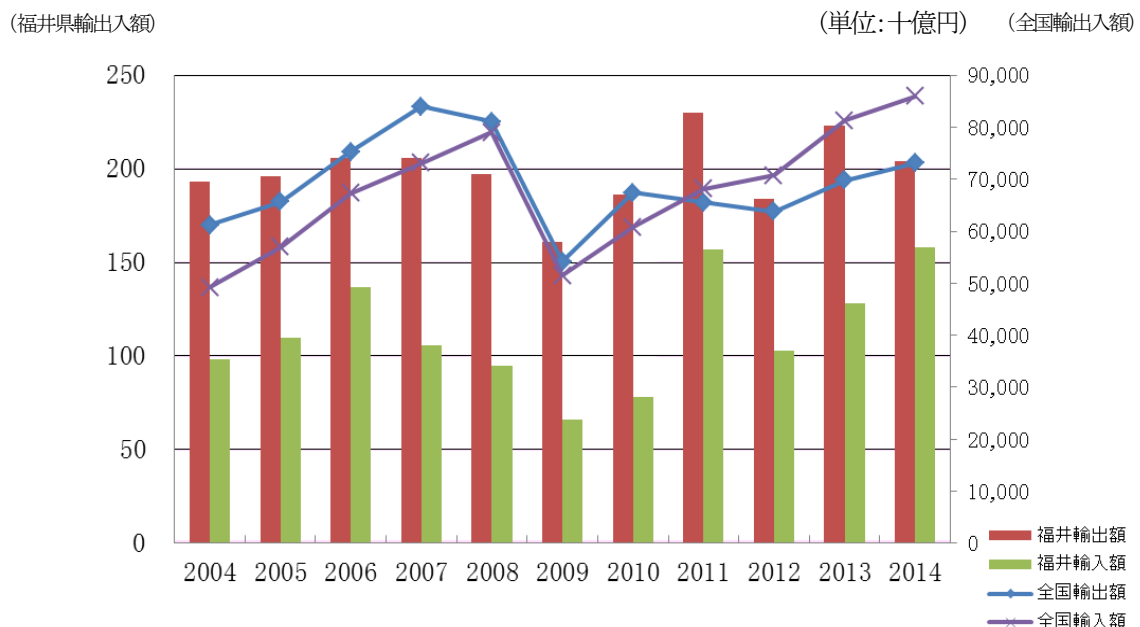
表 1ー最近の輸出入額の推移

(単位:千円・%)

年	福井県輸出額		福井県輸入額		貿易収支		全国輸出入額	
	金 額	伸び率	金 額	伸び率	金 額	伸び率	全国輸出額	全国輸入額
2004	193,161,923	10.9	98,290,573	8.3	94,871,350	13.6	61,169,979,094	49,216,636,346
2005	195,619,067	1.3	109,983,634	11.9	85,635,433	△ 9.7	65,656,544,157	56,949,392,181
2006	205,662,830	5.1	137,341,144	24.9	68,321,686	△ 20.2	75,246,173,392	67,344,293,072
2007	205,825,218	0.1	105,905,478	△ 22.9	99,919,740	46.2	83,931,437,612	73,135,920,427
2008	197,178,952	△ 4.2	94,755,545	△ 10.5	102,423,407	2.5	81,018,087,607	78,954,749,926
2009	160,782,400	△ 18.5	66,289,716	△ 30.0	94,492,684	△ 7.7	54,170,614,088	51,499,377,779
2010	185,507,725	15.4	78,334,463	18.2	107,173,262	13.4	67,399,626,696	60,764,956,840
2011	230,101,535	24.0	156,732,578	100.1	73,368,957	△ 31.5	65,546,474,948	68,111,187,178
2012	183,504,966	△ 20.3	103,487,820	△ 34.0	80,017,146	9.1	63,747,572,215	70,688,631,840
2013	223,478,592	21.8	127,875,777	23.6	95,602,815	19.5	69,774,192,950	81,242,545,171
2014	204,322,929	△ 8.6	157,551,120	23.2	46,771,809	△ 51.1	73,093,028,311	85,909,112,733

全国輸出入額の出所: 財務省貿易統計

図 1ー最近の輸出入額の推移



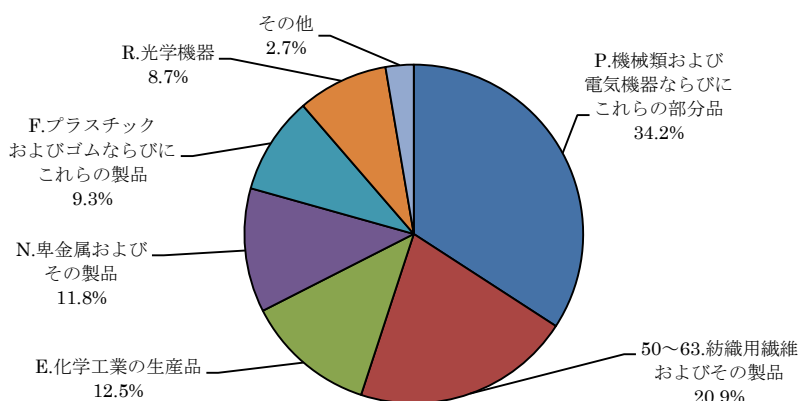
輸出品目別に動向を見ると、前年に比べ輸出額が増加した主な品目は、「N. 卑金属およびその製品」である。全輸出に占める各品目の割合は、「P.機械類および電気機器ならびにこれらの部分品」、「50～63.繊維用繊維およびその製品」、「E.化学工業の生産品（無機化学品、有機化学品、医療用品、染料、インキ、化粧品類、洗剤など）」および「N. 卑金属およびその製品」で79.4%を占める（それぞれ34.2%、20.9%、12.5%、11.8%）。

表2―品目別輸出額と増減額

(単位:千円)

コード	品 目	2013 年		2014 年		増減
		輸出額	構成比	輸出額	構成比	
A	動物および動物性生産品(動物、肉、魚、甲殻類、軟体動物、酪農品およびこれらの調製品)	63,180	0.0%	1,096,837	0.5%	1,033,657
B	植物性生産品(樹木、切花、野菜、果実、穀物、茶、たばこなど)	24,253	0.0%	55,164	0.0%	30,911
C	糖類、飲料、アルコールおよび食酢	142,151	0.1%	131,243	0.1%	△10,908
D	鉱物性生産品(塩、硫黄、セメント、鉱物性燃料など)	0	0.0%	704	0.0%	704
E	化学工業の生産品(無機化学品、有機化学品、医療用品、染料、インキ、化粧品類、洗剤など)	21,063,108	9.4%	25,479,415	12.5%	4,416,307
F	プラスチックおよびゴムならびにこれらの製品	16,352,062	7.3%	19,022,180	9.3%	2,670,118
G	皮革および毛皮ならびにこれらの製品、ハンドバッグ等これらに類する容器	0	0.0%	0	0.0%	0
H	木材及びその製品、木炭、コルク及びその製品並びにわら、エスパルトその他の組物材料の製品並びにかご細工物及び枝条細工物	24,000	0.0%	0	0.0%	△24,000
J	木材パルプ、繊維素繊維を原料とするその他のパルプ、古紙ならびに紙および板紙ならびにこれらの製品	453,648	0.2%	518,428	0.3%	64,780
50～63	繊維用繊維およびその製品	40,263,032	18.0%	42,681,805	20.9%	2,418,773
K	履物、帽子、つえ、および調整羽毛、羽毛製品、造花並びに人髪製品	0	0.0%	0	0.0%	0
L	石、セメント、陶磁製品、ガラスおよびその製品	1,012,725	0.5%	618,689	0.3%	△394,036
M	天然または養殖の真珠、貴石、貴金属、およびその貨幣	0	0.0%	0	0.0%	0
N	卑金属およびその製品	15,455,657	6.9%	24,191,448	11.8%	8,735,791
P	機械類および電気機器ならびにこれらの部分品	108,303,699	48.5%	69,780,233	34.2%	△38,523,466
Q	車両、航空機、船舶および輸送機器関連品	2,990,971	1.3%	2,399,927	1.2%	△591,044
R	光学機器(眼鏡、眼鏡フレーム、眼鏡レンズ、眼鏡部分品)	16,966,316	7.6%	17,694,175	8.7%	727,859
S	精密機器、楽器並びにこれらの部分品	216,755	0.1%	583,918	0.3%	367,163
T	家具、寝具、クッションその他詰め物をした物品、玩具および運動用具ならびに部分品、美術品および骨董	147,035	0.1%	68,763	0.0%	△78,272
	合 計	223,478,592	100.0%	204,322,929	100.0%	△19,155,663

図2―2014 年品目別輸出額の構成比



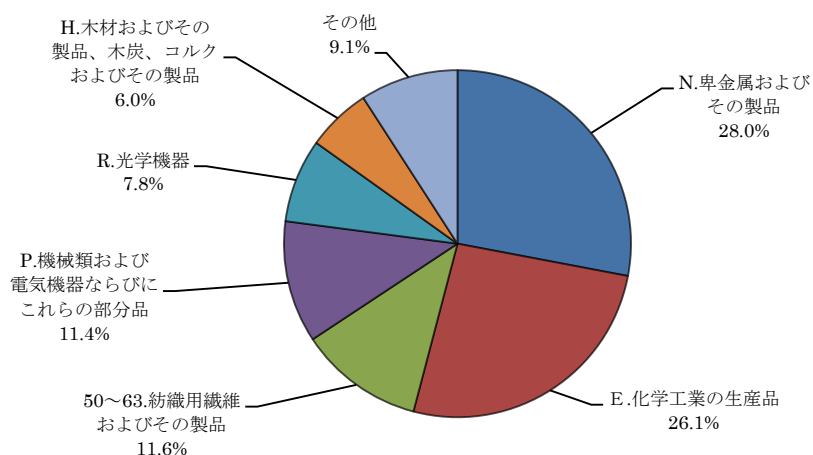
輸入品目別の動向を見ると、前年に比べ輸入額が増加した主な品目は、「E. 化学工業の生産品(無機化学品、有機化学品、医療用品、染料、インキ、化粧品類、洗剤など)」であり、逆に減少した主な品目は、「P. 機械類および電気機器ならびにこれらの部分品」などである。

表3―品目別輸入額と増減額

(単位:千円)

コード	品 目	2013 年		2014 年		増減
		輸入額	構成比	輸入額	構成比	
A	動物および動物性生産品(動物、肉、魚、甲殻類、軟体動物、酪農品およびこれらの調製品)	1,113,595	0.9%	1,879,623	1.2%	766,028
B	植物性生産品(樹木、切花、野菜、果実、穀物、茶、たばこなど)	94,888	0.1%	196,048	0.1%	101,160
C	糖類、飲料、アルコールおよび食酢	250,000	0.2%	0	0.0%	△250,000
D	鉱物性生産品(塩、硫黄、セメント、鉱物性燃料など)	901,106	0.7%	1,033,276	0.7%	132,170
E	化学工業の生産品(無機化学品、有機化学品、医療用品、染料、インキ、化粧品類、洗剤など)	21,825,107	17.1%	41,126,594	26.1%	19,301,487
F	プラスチックおよびゴムならびにこれらの製品	3,476,646	2.7%	7,907,362	5.0%	4,430,716
G	皮革および毛皮ならびにこれらの製品、ハンドバッグ等これらに類する容器	165,310	0.1%	161,605	0.1%	△3,705
H	木材及びその製品、木炭、コルク及びその製品並びにわら、エスパルトその他の組物材料の製品並びにかご細工物及び枝条細工物	9,300,235	7.3%	9,455,222	6.0%	154,987
J	木材パルプ、繊維素繊維を原料とするその他のパルプ、古紙ならびに紙および板紙ならびにこれらの製品	554,658	0.4%	600,754	0.4%	46,096
50～63	繊維用繊維およびその製品	18,346,905	14.3%	18,314,723	11.6%	△32,182
K	履物、帽子、つえ、および調整羽毛、羽毛製品、造花並びに人髪製品	121,919	0.1%	0	0.0%	△121,919
L	石、セメント、陶磁製品、ガラスおよびその製品	65,205	0.1%	110,614	0.1%	45,409
M	天然または養殖の真珠、貴石、貴金属、およびその貨幣	1,280	0.0%	768	0.0%	△512
N	卑金属およびその製品	41,320,388	32.3%	44,089,140	28.0%	2,768,752
P	機械類および電気機器ならびにこれらの部分品	18,368,381	14.4%	17,903,194	11.4%	△465,187
Q	車両、航空機、船舶および輸送機器関連品	11,777	0.0%	30,916	0.0%	19,139
R	光学機器(眼鏡、眼鏡フレーム、眼鏡レンズ、眼鏡部分品)	10,855,628	8.5%	12,289,187	7.8%	1,433,559
S	精密機器、楽器ならびにこれらの部分品	490,448	0.4%	514,924	0.3%	24,476
T	家具、寝具、クッションその他詰め物をした物品、玩具および運動用具ならびに部分品、美術品および骨董	612,301	0.5%	1,937,170	1.2%	1,324,869
	合 計	127,875,777	100.0%	157,551,120	100.0%	29,675,343

図3―2014年品目別輸入額の構成比



2014 年の輸出入額を地域別で見ると、本県の輸出はアジア向けが最も多く全体の 72.5%を占めている。以下、北米(12.1%)、欧州(10.7%)、中東(2.3%)の順となっている(図 4、後掲の表 15)。

また、輸入もアジアが最大の相手先であり、全体の 66.3%を占めた。次いで、欧州(18.8%)、北米(3.3%)、オセアニア(2.2%)の順となっている(図 4、後掲の表 17)。

アジアのうち最も金額が多いのが、輸出では東南アジアで 33.6%を占め(表 15)、輸入では中国で 47.1%を占めている(図 4、表 17)。

また、地域別輸出入額構成比を 10 年前の 2004 年と比較すると、アジアの占める割合は、輸出が 7.7%、輸入が 8.9%増加している(図5)。

図 4ー2014 年地域別輸出入額の構成比

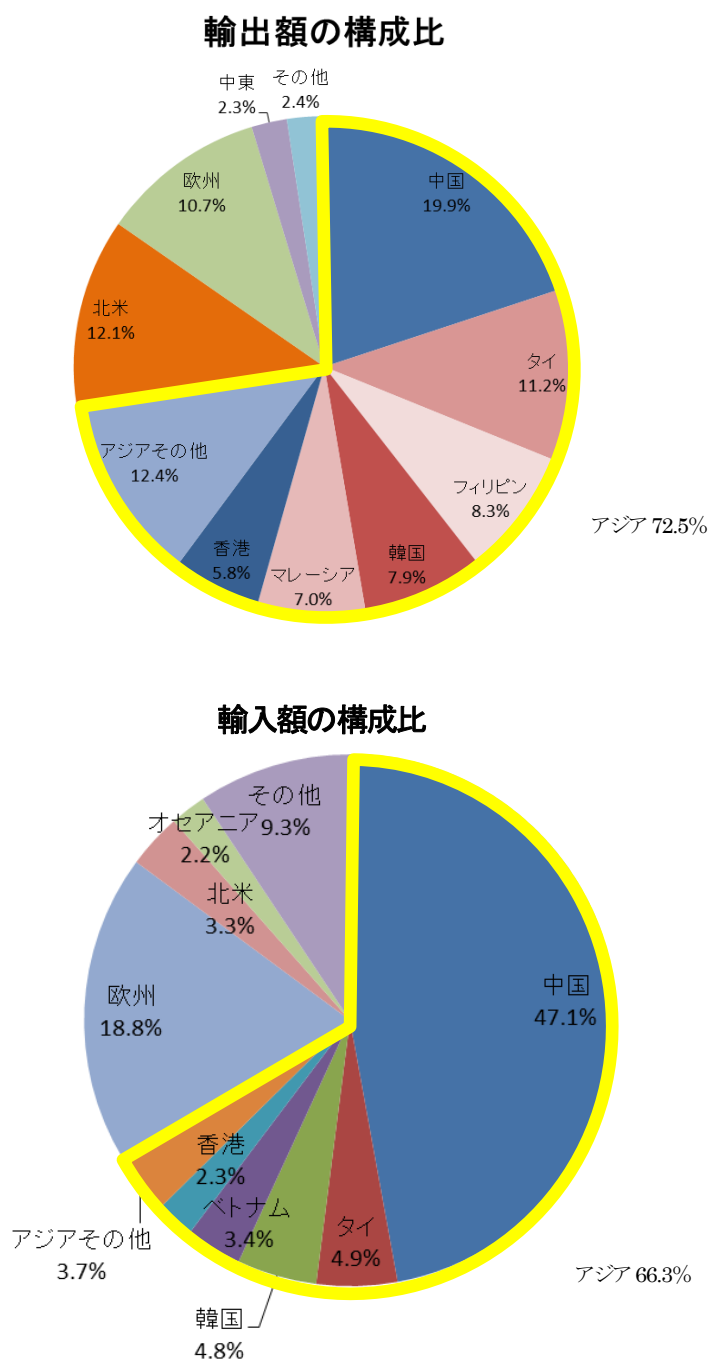


図5―地域別輸出入額構成比

